

唐総防第473号

令和2年11月7日

玄海原発反対からつ事務所

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会 様

唐津市長 峰 達 郎



原子力発電所に関する要請・質問への回答について（回答）

令和2年10月23日付けで依頼がありました要請・質問について、別添のとおり回答します。

唐津市 危機管理防災課

小出、阿蘇

TEL 0955-72-9260

回答

1 要請について

(1) 住民の命、健康を守るため新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている間は、玄海原発3号機及び4号機の運転を止めるべきと表明し、九州電力に要求すること。

- ご要請の件については承りました。本市としては、九州電力に引き続き徹底した安全管理を申し入れていきたいと考えています。

(2) 原子力防災避難計画を住民が被ばくしない計画に抜本的に改訂すること。それらが現実的に機能するまで九州電力に玄海原発3号機及び4号機を止める要求をすること。

- 本市の避難計画は、原子力規制委員会が定めた原子力災害対策指針等に基づいて策定しています。この指針は、福島第一原発事故の教訓や国際基準を踏まえて、住民の放射線の影響をできるだけ回避しつつ、安全で合理的な避難行動ができるように定められたものです。また、玄海原子力発電所の事故時の対応をまとめた「玄海地域の緊急時対応」について、国は「具体的かつ合理的である」としていることから、現在の避難計画は一定のレベルにあると考えています。
- ご要請の件については承りました。本市としては、九州電力に引き続き徹底した安全管理を申し入れていきたいと考えています。

2 質問事項について

(1) 屋内退避について

① 「陽圧化でない住居に屋内退避すると、“屋外滞在時の約7割を内部被ばくする”」前提を知ったうえで、市の避難計画を作ったのか。

- 福島第一原発事故時の教訓を踏まえて策定された原子力災害対策指針では、屋内退避することで屋外にいるよりも被ばくを少なくすることができるため、UP

Z圏内は屋内退避することが基本とされています。本市の避難計画は、この指針に基づいて策定しています。

②県発行「原子力防災のてびき」では、木造家屋では内部被ばくを1/4程度に抑えることができる」とあるが、具体的な根拠を示されたい。

- 原子力防災のてびきは、佐賀県において作成されていますので、佐賀県危機管理防災課にお尋ねください。

③陽圧化した鉄筋コンクリート造建屋は唐津市内のどこにあり、何か所あるのか。

- 各離島と呼子町加部島に12か所、宝寿荘、ひぜん荘、ちんぜい荘、うしお荘の福祉施設4か所、合計16か所にございます。

④原子力規制委員会が策定している原子力災害対策指針（19年7月3日）では、屋内退避について「UPZにおいては、段階的な避難やOILに基づく防護措置を実施するまでは屋内退避を原則実施しなければならない」と明記されている。指示があるまで逃げていけないとなるなら、12万人の30キロ圏内の住民すべてが陽圧化した建屋に屋内退避できるのか。

- 原子力災害対策指針では、UPZ圏内は、屋内退避が基本で、緊急時モニタリングにより放射線量が基準を超えた場合には、地域を限定して避難するとしています。
- 屋内退避は、屋外に出た場合に比べ、被ばくする量を少なくすることができます。
- 陽圧化した施設は、避難指示がでた場合に時化などですぐに避難できない場合に備えてUPZ圏内の離島の住民と福祉施設4か所の入所者が主に利用するものです。基本的には、お住いの住居で屋内退避します。

⑤風向きによって放射能はどこにでも飛んでいく。O I Lに基づく段階的な避難はできるのか。

- 原子力災害対策指針では、UPZ圏内は、屋内退避が基本で、緊急時モニタリングにより放射線量が基準を超えた場合には、地域を限定して避難するとしています。

(2) コロナ禍での避難所について

⑥「密集を避け、極力分散して退避すること」とされているが、一時集合場所に指定されている小さな公民館などでは、具体的にどのように密集を避けるのか。

- 一時集合場所は、避難指示が出た場合に市外の広域避難所に避難するバスに乗りするための集合場所です。集合時間帯を分ける、受付に要する時間をできるだけ短くするなど密閉、密集、密接を避ける対策をとるように努めます。

⑦指定避難所の許容人数超過や集合場所が変更になったなど、住民に対して、いつどのように周知するのか。

- 原子力災害時の広報は、市ホームページ、チャンネルからつ（テレビ 12ch）、災害情報メール、防災行政無線、FM からつ、緊急速報メールで随時お知らせします。このほかLアラートを活用し、NHK や民放テレビ、ヤフーなどインターネットにも情報提供する予定です。

⑧「放射線防護能力を低下させるような行動をとるな」ということは換気をす
るな、ということである。感染症に反するのではないか。

- 全面緊急事態に至った場合は、放射性物質による被ばくを避ける観点から、扉
や窓の開閉等による換気は行わないことを基本としますが、感染症対策の観点か
ら放射性物質の放出状況に注意しながら 30 分に 1 回程度、数分間窓を全開にす
るなどの換気を行うよう努めます。

⑨避難所で屋内退避する場合も、換気は行わないのか。

- 追加的な屋内退避の指示がなされていない場合には、定期的に換気を実施しま
す。

⑩「感染者とそれ以外の者とは隔離するため、別施設や個室等に避難、また、
密集を避ける」とされているが、指定避難所の新たな施設や個室等はどう手
配するのか。

- 感染者は、佐賀県が実施する感染者対策に従ってホテル等に避難していただく
予定です。発熱者については、避難所の入り口を分け、施設内の違う部屋に入っ
ていただくことにしています。

⑪別施設の避難所の確保と、受け入れ市町との調整はできているのか。

- P A Z 圏内の避難先の受け入れ市町との調整を優先して実施しているところで
す。

⑫スクリーニング会場にて分散して検査する場所や人数はどう確保するのか。

- 佐賀県において実施されることから、佐賀県において調整されるものと認識し
ています。

⑬マスクや消毒液等の備品はどのくらいの数分、期間分備蓄しているのか。
それらの管理体制は把握しているか。

- 原子力災害時には、国から必要な物資がプッシュ型支援によって緊急輸送されることとなっています。また、佐賀県において必要な分を調整されるものと認識しています。
- マスクについては、現在、約2万枚を唐津市危機管理防災課で保有しています。

(3) コロナ禍での避難移動手段について、「バス等で避難する時は密集を避け、極力分散して避難」とされている。

⑭分散避難できるバスや福祉車両は何台追加手配するのか。

- 避難車両については、佐賀県がバス・タクシー協会と協定を結んでいて、佐賀県が必要数を調達することになっています。
- 不測の事態により輸送能力が足りない場合には、自衛隊等が支援を実施することになります。

⑮運転要員と、車両の要請事業所を具体的に示されたい。

- 避難車両については、佐賀県がバス・タクシー協会と協定を結んでいて、佐賀県が必要数を調達することになっていますので、佐賀県にお尋ねください。

⑯移動車両内の換気はどのように行うのか。

- 全面緊急事態に至った場合に、バスや福祉車両で避難する場合には、十分な間隔の確保、マスク着用、無用な会話や密を避けられない場所での飲食を控えるなどを徹底するとともに、放射性物質による被ばくを避ける観点から、窓の開放等による換気は行わないことを基本とします。

- ただし、感染症対策の観点から、放射性物質の放出に注意しつつ、30分に1回程度、数分間窓を全開にする等の換気を行うように努めます。
- 濃厚接触者が乗車する車両、または、発熱・咳等のある者が乗車する車両の場合は、更に換気の頻度を増やすよう配慮します。
- 全面緊急事態に至った場合に、自家用車で避難する場合には、放射性物質が放出される事態に備え、UPZ内を越えるまで、窓を閉める等を行い、原則換気は行わないこととされています。

(4) コロナウイルス感染者（軽症者・重症者）に対して

⑰軽症感染者が避難先の体育館等で「個室」に避難した場合に、これらに対応する体制は確保できるのか。

- 感染者は佐賀県が手配した避難所に避難します。

⑱避難所で感染者が出た場合、被害が拡大しないような体制は確保できているか。

- 体制の確保は必要と考えています。原子力災害時には、佐賀県において対応されるものと認識しています。

⑲人工呼吸器やECMOを装着した重症者が避難できるのか。

- 福島第一事故での経験から、重症者の避難には命のリスクを伴うことを考慮し、医療機関において総合的に判断されるものと認識しています。

⑳重症者の避難手段はシミュレーションしているのか。

- 医療機関において定めた避難計画に基づき避難、または転院させることになっております。

㉑避難先としての「感染症指定医療機関」とはどこを予定しているのか。そことの合意はできているのか。

- 新型コロナ感染症対策を担当している佐賀県の医務課にお尋ねください。

(5) コロナ禍での住民への安定ヨウ素剤の配布について

㉒一時集合場所での配布か。

- 必要に応じて、一時集合場所での安定ヨウ素剤の配布を行います。

㉓一時集合場所では検温等も実施されることになり、一層時間と手間がかかる。それを避けるためにも、安定ヨウ素剤は事前配布するべきではないか。

- P A Z 圏内には事前配布しています。U P Z 圏内の希望者にも配布しているところです。

(6) 原子力防災・退避訓練について

②④国は原子力災害時にSPEEDIを使わないこととしたが、全国知事会からの要望に対して2016年3月に「自治体の責任において活用することを認める」と回答した。今年6月には、京都府がSPEEDIを使った高浜・大飯原発の放射性物質拡散予測を行っている。玄海原発においても避難時に被ばくの可能性を少しでも低減するため、福島原発事故並みの放射能放出率でSPEEDIの活用をすべきではないか。

- 国の方針により佐賀県がSPEEDIを活用する予定はしておりません。原子力災害対策指針に基づき、避難は緊急時モニタリングの結果によって判断されます。

②⑤SPEEDIを災害時の運用訓練やその評価のために、訓練時にも活用すべきではないか。

- 国の方針により佐賀県がSPEEDIを活用する予定はしておりません。指針に基づき、避難は緊急時モニタリングの結果によって判断されます。

②⑥スクリーニング場所で放射線量を測定する時、被測定者に対して被ばく量の確認できる証明書は発行するのか。発行しない場合は、なぜ発行できないか理由を提示されたい。

- スクリーニングは佐賀県において実施されます。現在、佐賀県に確認しているところです。

②⑦避難時のすべての業務は市町の職員のみが担う事になっている。コロナ禍での避難先の住民の対応や施設の手配など人数は足りるのか。

- 原子力災害時において、本市の対応職員数が不足する場合には、佐賀県において調整されるものと認識しています。関係市町とは、覚書を締結して協力体制をとっているところです。

㊸訓練時の避難所での講話・説明などの記録公開はしないのか

- 佐賀県において訓練記録を作成されていますので、佐賀県にお尋ねください。

㊹避難計画に対して住民合意はいつどういう形で得られているのか。住民、区長、公民館長、医師会、看護協会、漁協、農協、バス・タクシー協会、学校・幼稚園・保育園・福祉施設など避難元・先の施設長などからの同意は得られているのか。

- 避難計画の策定等は、原子力災害対策特別措置法の規定に基づくもので、住民の合意等は要件になっていませんが、計画の実効性を高めるために、訓練後に事後検証会を開催しています。
- 本市では、出前講座を実施して、市民向けに避難計画も含めた原子力防災について説明会を行っているところです
- 医師会やバス・タクシー協会等との協定については、佐賀県にお尋ねください。

㊺七山村経由の避難者の数は多いと聞いているが、どの地区で何人か。住民が糸島市方面に避難する可能性があるが、糸島市内で渋滞発生可能性があるときは唐津市民を通さないと聞いた。それは本当か。どう対処するのか。

- 七山を通る避難ルートは、唐津市原子力防災ガイドブックに示している「避難ルート②国道323号」の避難ルートです。対象地域は、高島地区 約 200 人、成和・外町校区 約 12,800 人、大志校区 約 6,050 人、西唐津校区 約 5,810 人、浜玉地区の一部 約 2,250 人、七山地区 約 1,940 人の計、約 29,050 人です。
- なお、糸島方面に避難するルートは、同ガイドブックに示している「避難ルート④西九州道」の避難ルートです。対象地域と人数は、鏡小校区 約 13,820 人、東唐津小校区 約 1,230 人、浜玉小校区 約 9,210 人の計、約 24,260 人です。
- 広域避難時の交通誘導は、佐賀県にお尋ねください。道路交通情報や現地確認情報から大きな渋滞が発生している場合には、佐賀県内の重要幹線道路での避難を採用し、主要な交差点や I C において佐賀県の主要幹線道路への誘導を行うこ

とになっています。

(7) 離島7島のPAZ認定について

⑳馬渡島、向島、加唐島、松島、小川島、神集島、高島の7離島はPAZから外されている。原子力避難計画は住民の命と健康を守るためのものであり、距離を正確に守ることにより住民を被ばくさせないように、一刻も早く逃げてもらったことが最優先ある。7離島をPAZに入れるべきではないか。

- 福島第一原発事故時には、放射線量からみると避難する必要のない方まで無理に避難したことが要因となり、避難途中や避難先で多くの方が亡くなられています。その教訓を踏まえて、原子力災害対策指針では、不要な避難を抑制するためにUPZ圏内は屋内退避することが基本とされ、広域避難は緊急時モニタリングの実測値に基づいて対象地域を限定して実施とされています。
- 本市の7つの離島については、玄海原子力発電所から5キロ以上離れており、原子力災害時には屋内退避することが基本です。UPZ圏内の広域避難は、全ての地域が一斉に避難するわけではなく、緊急時モニタリングにより放射線量が基準を超えた場合に地域を限定して避難するとしています。